

第4回 独立行政法人農業者年金基金契約監視委員会 議事概要

1. 開催日

平成25年3月27日(水) 15:00~16:30

2. 会場

独立行政法人農業者年金基金 特別会議室

3. 出席者

和田 義博 委員長 (和田義博会計事務所 公認会計士)
竹川 忠芳 委員 (竹川忠芳法律事務所 弁護士)
石井 勇人 委員 (社団法人共同通信社 前橋支局長)
中村 眞純 委員 (独立行政法人農業者年金基金 監事)

4. 議題

- (1) 独立行政法人農業者年金基金における平成24年度契約の点検結果
- (2) その他

5. 概要

- (1) 独立行政法人農業者年金基金における平成24年度契約の点検結果
それぞれの契約の詳細と今後の方針等を基金が説明した。

- ① 競争性のない随意契約について 8件
- ② 1者応札・1者応募となっている一般競争入札等について 3件

競争性のない随意契約については、事務室及び倉庫の賃貸借の水準、年金給付金振込等の手数料の単価等について質疑が行われた。また、1者応札・1者応募となっている一般競争入札等については、基幹業務記録システム及び電子情報提供システム運用業務、同保守業務等の契約の適正化の方針等について質疑が行われた。その結果、随意契約は真にやむを得ないものであること、1者応札・1者応募に対する見直し方針等について了承された。

なお、今回の点検・見直しに当たっての委員からの主な意見は以下のとおり。

<主な意見等>

- 貸主と交渉の結果、前年度比で契約金額が減っている点は理解したが、相場として妥当な金額であるとの資料も作成しておくことが望ましい。
- 年金給付金振込等の支払件数は相当多いと思うが、どうしてこのような安い単価が設定されているのか。他の取引事例と比較検討しておくべきではないか。
- 平成26年度から新システムへ移行することだが、運用業務、保守業務共に契約の適正化に努めていると理解できる。

以上